

ご挨拶

今般、最高顧問として参画させていただくことになりました、弁護士の木村一輝（きむらかずき）です。

私は、かつて個人情報保護委員会で執務を行い、その際に、防犯カメラ、顔識別機能付きカメラシステムや、認定個人情報保護団体を担当しておりました。その際に JEAS のことを初めて知りましたので、もうすでに3年以上、JEAS とともに歩んでいることとなります。その間、セミナーや熱海嵐山の合宿に参加させていただいたり、「画像と文字の AI 利用について社会のご理解をいただくためのお勧め事項」の作成にかかわらせていただいたり、皆様に温かく迎えていただきました。



熱海嵐山の合宿

今度は、私が恩返しをする番ですが、私は法律家ですので、まずは、JEAS が、また、皆様が、適法に活動できるように役割を果たしていきたいと考えております。現代では、法規制は複雑になっています。実際に、現在の国会で提出されている個人情報保護法の改正案は、新たなデータカテゴリーを設ける等、さらにわかりにくくなっています。また、適法に事業を行うためのガバナンス体制の構築—例えば、作業・検討の手順の構築、規程・組織の整備—の重要性が叫ばれ、サービスさえ良ければ、あとは何をやっても良い、という時代は終わっています。

法律家の役割は、「このようなリスクがありますね」、「これは違法ですね」、「これをやれば完璧ですね」と評論家のような意見を述べるのではなく、リスクをどこまで受容するか、どのようにすれば適法にできるのか、限りあるリソースの下でどこまでやるかを考えることです。法律やガバナンスのことで、悩むことがあれば、いつでもお声がけください。JEAS の理念にもつながるのでしょうが、自分の知識・経験をできるだけ、皆様のお役に立てることこそが、うれしいことです。

最後に、引き続きの温かいご支援のお願いと、JEAS の発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。